社会学科社会学専攻 2019 年度カリキュラム 卒業必要単位:124 教育研究上の目的ならびに学位授与の方針

教育研究上の目的ならびに学位授与の方針
上記のような人材育成のために、社会学の専門的な講義科目を履修することによって、社会学の体系的なリテラシーを習得していること、演習・実習科目を履修することによって、自らの問題意識の発見と問題解決能力を休得していること、さらには卒業論文・演習しポートを執筆することによって、自らの問題意識に基づき、的確な問題設定を行い、その解答を導き出すとともに、社会に対して発信できる表現力を身につけていること、以上によって所定の期間在学し、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、学士(社会学) の学位を授与する。

(DPI) 建学の理念を実践する力(理解、関心、意欲、態度、主体性) 必修科目である「仏教と人間」を履修することにより、仏教の教えと禅の精神についての理解を深め、自分 を高める自己形成と社会学という学問領域を密接に関連付けることができる駒澤大学の学生としてのアイ デンティティを身に着けていること。

(DP2) 幅広い教養、多様性の理解と尊重〔知識、理解、関心、意欲、態度、主体性、多様性、協働性〕 多様な教養科目、専門科目を履修することにより、豊かな感性と観い洞察力、幅広い教養を身につけ、国 内外の多様な文化・価値観の違いを理解し、他者を尊重することができること

DP3) 情報分析力と問題解決力(技能 思考力 判断力 表現力)

t会学におけるカリキュラムを十分に習得することにより、データ処理に関する情報リテラシーを体得し、 -演習科目を履修することにより、主体的な問題意識と問題解決能力を体得していること

(DP4) コミュニケーション能力(技能、思考力、表現力、主体性、多様性、協働性] 他者と主体的に協働する能力と自らの考えを論理的かつ明確に伝えるプレゼンテーション能力と文章力を

(DP5)専門分野の知識・技能の活用力「知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性〕 体系的に習得した社会学における専門知識や社会調査にかかわる技能・技術を、実際に直面する状況・影 題に対して臨機応変に活用し、社会に発信・貢献できる能力を身につけていること

教育課程の編成方針 研究の企業を表現しません。 ディブロマ・ポリシーに掲げた5つの能力の習得を目標に、社会学専攻の科目の系統は、1年3に関修する全学共通科目の入門・導入科目等を基礎とした上で、育成目標となる力によって大きく3つに分類され、れぞれにおいて基礎から応用・発展までの科目を学年ごとに配置している。教育課程の体系性は、履修系統図とナンパリングによって示される。

①人間と社会を把握する力を育成する(DP1とDP2)【CP1】②社会の実態を調査する力を育成する(DP3)【CP2】③問題を発見し、解決する力を育成する(DP4とDP5)【CP3】

教育内容、教育方法、評価については下記に定める内容に従う。

教育内容、教育方法、評価については下ばに定める内容に促う。 1. 教育内容 1)「人間と社会を把握する力を育成する」科目には、社会学の基礎を学ぶ科目(社会学概論、社会学原論など)や社会学の応用・発展としての各論に相当する科目、社会学の隣接領域(人類学、心理学、社会福祉学、社会政策論など)が含まれる。 2)「社会の実施を設合する力を育成する」科目は、社会調査や統計、情報処理などの科目である。 3)「問題を発見し、解決する力を育成する」科目は、社会参加実習や社会調査実習などのフィールドワークの実践、専門演習(ゼミ活動としてのフィールドワークの実践と卒業論文や演習レポートの執筆)が相当す

る。 これら1~3の科目を基礎から応用まで学ぶことにより、社会学の体系的なリテラシーを習得し、自らの問題意識の発見と問題解決能力を体得することが可能となる。また、一般財団法人社会調査協会による「社 会調査士」資格の取得も可能となる。

2. 教育方法 1)演習・実習科目においては、積極的にアクティブ・ラーニングを取り入れた教育を行っており、大人数の講義科目においても、リアクション・ベーパーなどの活用により、可能な限りアクティブ・ラーニングを取り入れて授業を行っている。 れて授業を行っている。 2)社会学専門演習については、事前に募集説明会やゼミ公開を実施し、担当教員による選抜を行っている。1つのゼミあたりの上限定員を設けて特定のゼミに学生が集中しないように配慮し、少人数制の下、担当教員による手厚い指導を行っている。 3)社会学専門演習 IIにおいては、自ら同側心に基づいた研究テーマにより、四年間の集大成としての卒業論文もしくは演習レポートの執筆を必須としている。なお、卒業論文もしくは演習レポートの指導における専門性をより高めるために、専門演習 I から II、II から II へII から II へII

3. 評価 卒業認定・学位授業の方針(ディブロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、学生の入学時から卒業後の成長を見据えた 教育を行うために、全学的に取り組む機関レベルの評価・測定(全学の該当部分を参照)と同時に、社会学事攻の教育課程レベルと科目レベルでも学習成果の評価・測定を行う。

入学者受け入れ方針

人子者受け入れ万計
社会学科社会学専攻では、現代社会に対して強い関心を持ち、社会に精極的に貢献したいと考える学生を求めている。一般入試では、①園語、②英語、③世界史、日本史、地理、政治・経済、数学の方ち1科目、の3科目について学力試験を実施し、総合的に評価し、入学の受け入れを判断している。推薦入試では、提示された資料や問題に対する。あないは身近な社会現象や社会問題に対する基礎的理解力、分析力、論理的思考力について、社会学を学ぼうとする意欲や社会に対する関心・洞察力について、そして高校時代の社会的な活動などを総合的に評価し、入学の受け入れを判断している。

. 社会学科社会学専攻の求める学生像 社会学科社会学専攻で求める学生像は以下の通りである。

AP1)高等学校の基礎的な学力を身につけていること。特に「国語総合」、「英語」の基礎的な学力を身につけていること。 AP2)本学が仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、社会学科社会学専攻で学んだ知識・経験を社会に出てから活用したいという意欲をもっていること。

AP3)現代社会に強い関心があり、社会をより良くしていきたいという願いを持っており、広く社会に目を向け、幅広い知識を養おうとする態度を身につけていること。そして、現代社会における諸現 & 問題についての様々な情報に基づき、自ら考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明する基本的な能力を身につけていること。

AP4) 多様な文化・価値観の相違を認識し、他者とのかかわりあいの中で他者を尊重し、主体的に協働できるコミュニケーション能力と意欲を身につけていること。

分野 ⁴ 	*	1年次前期	DP(1-5)	科目Ma. 1年次後期	DP(1-5)) [2年次前期	DP(1-5)	2年次後期	DP(1-5)		3年次前期	DP(1-5)		3年次後期	DP(1-5)	科目Ma	4年次前期	DP(1-5)		4年次後期	DP(1-5)
		- +1 ->		(2~4)		0 0111000000	- _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _		I~10) ■社会学の理論(2)	Τ,	2 3111084220			(4~	10)	1			Т Т	(4~10)		
32		■社会学概論A(2)	2	3111080920 ■社会学概論B(2)	_	_	■社会学の歴史(2)	2 3111084215	■在芸字の理論(2)	1 2	2 3111084220											-
必修:10	理論			■社会学基礎演習(2)		4 3011084210										-						-
34		◆外書講読演習(2)	2	3111036310																		
L							●現代社会学理論研究(2)	2 3111058110	!													
į		■情報処理実習(4)	3	1111110700			■統計学基礎演習A(2)	3 1111149720	◆統計学基礎演習B(2)	3	3 1111149730	◆社会調査実習(4)				3-4-5	3113083800	1				
į.	方法論	■社会調査A(2)	3	3111083610 ■社会調査B(2)		3 3111083620																
j		◆社会参加実習(2)	3•4	3011082910					◆質的調査法演習(2)	3	3 3111079001	◆社会統計学演習(2)	;	3113084000								
1																						
1																						
į.																						
1							◆文化社会学(2)	3111177101														
į.	各論						◆産業と変動の社会学(2)	2 3111075910	◆雇用と労働の社会学(2)	1 2	2 3111073406											
į.																						
								+ + +				<u> </u>										
							◆市民社会論(2)	2 3111079240														
							◆ デジタル社会論(2)	3111149207						+		_			 			
1							1	+ + -	+							+						+
1			_			-	◆多文化社会論(2)◆ソーシャル・イノベーション論	3111132650	-							-						-
1							(2)	3111120040														
1							◆ナショナリズム論(2)	3111157290														
1							◆家族社会学(2)	3121022203														
							◆開発社会学(2)	3111020750	◆都市社会学(2)		3111154203											
							◆地域と村落の社会学(2)	3111134310														
							◆コミュニティ・ネットワーキング 論(2)	3111073408														
							◆異文化コミュニケーション論(2	3111004901														
1							◆マス・ミュニケーション概論(2)	3111186403														
							◆現代メディア論(2)	3111005040														
							◆現代文化論(2)	3111059650														
							◆現代家族論(2)	3111056670														
							◆ジェンダー・セクシュアリティ誰	3111103380														
							(2) ●国際社会論(2)	2 3111068310														
							●社会心理学(2)	3211083105														
							●社会運動論(2)	3111079295														
									+							+						+
			_			-	●排除と包摂の社会学(2)	3111167350								-						-
							●正義論(2)	3111116950														
							●グローバリゼーション論(2)															
							●平和学(2)	3111178650														
							●リスク社会論(2)	3111198250														
							●医療社会学(2)	3111005955														
							●社会学特論 I (2)	3111084290														
							●社会学特論 Ⅱ(2)	3111084295														
							●政治社会学(4)	2 3511119800														
							●宗教文化論(2)	2 3111090003	●社会階層論(2)	2	2 3111079290											
							●犯罪と逸脱の社会学(2)		■異文化コミュニケーション論(2)) 2	2 3111004901											
								+ +	 			<u> </u>										
								+ + -						+								
							*******	+ -														
							●教育社会学(4) ●福祉社会学(2)	2	●歴史社会学(2)		2 3111084260								\perp			\perp

		●老人福祉論(2)	2 312119381	0		●災害社会学(2)	2 3111074701	●環境社会学(2)		3111023110											$\overline{}$
		児童福祉論(2)	2 312110640																	-+	
				2 3121134400		 ●社会保障論(4)			2 3121087500										-+		
					2 3411187300		●社会体障舗(4)	1	,	2 312108/500										\rightarrow	
		●行政法(4) 2			2 3441194000										\perp					\rightarrow	
					2 3421048300	●環境心理学(2)	2 3211023210	●スポーツ心理学(2)	:	3231116310											
					2 3611052000	●老年心理学(2)	2 3231194110	●青年心理学(2)	:	3221120290											
		●社会政策A(2)	2 365108331	0 ●社会政策B(2)	2 3651083320	●児童心理学(2)	2 3231106110	●発達臨床心理学(2)	:	3231168250											
T .						■社会学専門演習 I a(2)	2 • 4 3011084225	■社会学専門演習 I b(2)	2.	3011084230	■社会学専門演習Ⅱ(4)				3-4-5	301308423	■社会学専門演習Ⅲ(4)			5 3/	013084240
	実践																●卒業論文(8)			5 3	023131600
	保健体育科目(2)	健康スポーツ・実習(2)			2																
		英語 I Aa(1)	2	英語 I Ab(1)	2	英語 II Aa(1)	2	英語 II Ab(1)		2											
	外国語教育(10) l	英語 I Ba(1)	2	英語 I Bb(1)	2																
		ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 I Aaのいづれか1科		ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語 I Abのいづれか1科																	
		目(1)	2	目(1)	2																
全学共通科目:30単 位		・イツ語・フランス語・中国語・スペイ レ語・ロシア語 I Baのいづれか1科		ドイツ語・フランス語・中国語・スペイ ン語・ロシア語 I Bbのいづれか1科																-+	
		目(1)	2	目(1)	2															$\overline{}$	
	****	新入生セミナー(2)	1 • 4																		
	参養教育 (人文・社会・自然・ ライフデザイン)(14)	人文分野(2) 法学憲法(4)	2	人文分野(2)	2	人文分野(2)	2			-					-					\rightarrow	-
	フィファザイン(14)	M I MM I		自然分野(2)	2	自然分野(2)	2													<u> </u>	
	宗教教育(4)		仏教と人間(4)		1																
広域選択	尺:18単位	各科目区分の卒業必要単位数を超えて修得した単位																			
履修モデ	ル単位数	22~21科目 44~48単位					5~8科目 24~36単位						3~7科目 14~22単位								
履修制	聚単位數			50単位		50単位 50単位 48単位								単位							